

林東源特使訪朝に伴う南北朝鮮の共同報道文

2002年4月3日～5日まで、大韓民国（以下、韓国）の林東源青瓦台外交安保統一特別補佐役が金大中大統領の特使として、朝鮮民主主義人民共和国（以下、北朝鮮）の平壤を訪問し、金正日国防委員長を表敬訪問したほか、金容淳朝鮮労働党書記との会談を行った。

これらの会談等の結果、南北が共同報道文（コミュニケ）を発表した。この共同報道文の中で合意された内容は、2000年6月の南北共同宣言で宣言され、着手されたものの、一時中断していた南北の交流を再開させるというものである。今後、これらの合意がどのように実行されていくのかが注目される。

今回は、韓国統一部（<http://www.unikorea.go.kr/>）から2002年4月6日付で発表された『特使訪北関連解説資料』に収録されているこの共同報道文を翻訳して紹介する。

共同報道文

南側の要請に基づき、2002年4月3日から5日まで、金大中大統領の特使である林東源青瓦台外交安保統一特別補佐役が平壤を訪問した。

林東源特使は、金正日国防委員長を表敬訪問し、金大中大統領の親書を伝達し、金大中大統領の意志を伝達した。

滞在中、林東源青瓦台外交安保統一特別補佐役と朝鮮労働党中央委員会金容淳書記との間で会談があった。

この過程で双方は、最近作り出された朝鮮半島情勢と民族の前に迫ってきた重大な事態そして南北関係において提起される諸般の問題に対して幅広く協議し、以下のように合意した。

1. 双方は歴史的な 6.15 南北共同宣言の基本精神に合致するよう、お互いが相手側を尊重し、緊張状態が作り出されないよう努力することとした。
2. 双方はわが民族同士が力を合わせて、国の統一問題を自主的に切り開いていくた

めの共同宣言の合意事項に基づき、この間一時凍結状態にあった南北関係を原状回復することとした。

3. 双方は南北間の中断された鉄道と道路を連結することが重要であるとの認識の下、東部において新たに東海線鉄道及び道路を、西部においてソウル～新義州間の鉄道及びムンサン～開城間の道路を早期に連結することとした。

4. 双方は南北間の対話と協力事業を積極的に推進していくこととした。

南北経済協力推進委員会第2回会議を5月7日～10日までソウルで開催することとした。

これと共に、鉄道と道路の連結、開城工業団地建設、臨津江水害防止対策等を討議するための南北経済協力推進委員会傘下の実務協議会等を稼働させることとした。

金剛山観光活性化のための第2回当局間の会談を6月11日から金剛山で行うこととした。

第4回離散家族訪問団交換事業を4月28日から金剛山で行うこととした。

北側はすでに合意した経済視察団を5月中に南側へ送ることとした。

双方は以上の合意事項が履行され、進展するに従い、第7回南北閣僚級会談を開催することとした。

5. 双方は南北軍事当局者間の会談を再開することとした。

6. 双方は同胞愛と人道主義、相互扶助の原則で、お互いに協力することとした。

2002年4月5日

平壤

以上